



吉高ニュース

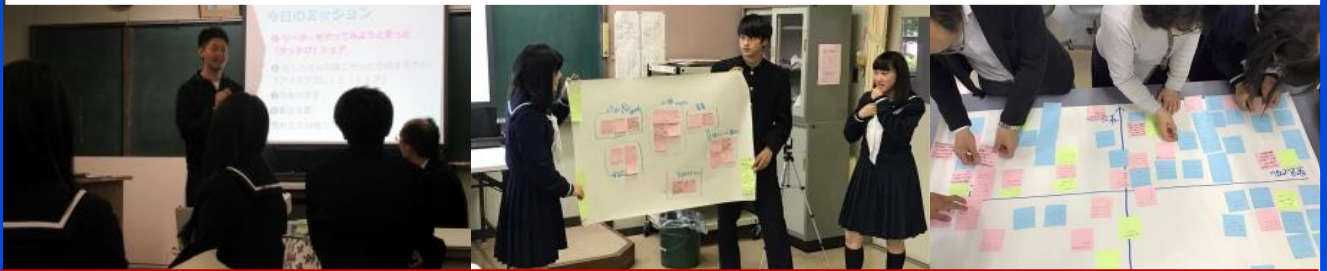
平成29年度 7月号

岐阜県立吉城高等学校渉外部

5月・6月の様子 ～校訓「行学一致」「自主・創造」「心身の錬磨」～

5/17 第1回YCKプロジェクトリーダーミーティングを行いました。

本校の生徒が主体的にYCK（吉高地域キラメキ）プロジェクトに関わり、成長する仕組みを構築するため、プロジェクト推進の中心的な役割を担うプロジェクトリーダーを対象にした研修を行いました。本校卒業生の関口祐太さん（チームフローム認メンタルコーチ）を講師にお招きし、「もっとワクワク！YCKプロジェクト～未来につながる地や体験学習～作戦会議 Vol.1」と題したグループワークに、プロジェクトリーダー13名と担当職員が参加しました。



5/24 「地域を知る講座」①を行いました

本校は「ユネスコスクール」に加盟申請中ですが、総合的な学習の時間でユネスコ国内委員である大垣ユネスコ協会事務局長の今みどり先生を講師にお招きし、「ユネスコ活動とESDパスポート ～国際社会へ向けて地域からの発信～」と題して、ユネスコ憲章の意義と、我々が取り組む課題等について、お話をいただきました。



ESDパスポート

生徒の感想より
世界や地域社会の課題に目を向け、自らの問題としてとらえ、自分自身で考え、自発的に行動することの大切さを学ぶことができた。吉城高校が取り組んでいるYCKプロジェクトを通じて「地域の人との出会い・関わり・つながり」を大切にしていきたい。これからの高校生活でどんなことに取り組みていきたいか考えることができた。

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の岩（とりで）を築かなくてはならない」（ユネスコ憲章）の中の「平和の岩」とは何か、考えていきたい。

5/28 英語スピーチコンテスト 最優秀賞！！

高山市役所で開催された飛騨高山国際協会主催 平成29年度第30回英語スピーチコンテストに、本校から1年D組の平川彩舞鈴さんが出場しました。このスピーチコンテストは高山市在住の高校生が5分間の英語スピーチを披露するもので、平川さんのスピーチタイトルは「Eating meals just to fill your stomach?」（おなかを満たすためだけに食事をするの？）でした。最近日本で問題となっている『孤食』を取り上げ、この問題に対する自分の意見を堂々とスピーチし、見事に最優秀賞を受賞しました。



初めて高校生の部に出場して、最優秀賞をいただけたことはとても嬉しいですが、他の人のスピーチを聞いて、自分にはまだまだ表現力や説得力が足りないと感じました。
（1年 平川さん）

5/29 第2回 吉城高校創立70周年記念事業 実行委員会

吉城高校同窓会による第2回吉城高校創立70周年記念事業実行委員会が開催されました。平成30年に行われる吉城高校創立70周年記念行事について、実行委員会会長（同窓会会長）より、実行委員会組織と役割分担案が提案され承認されました。その後は各部署に分かれ、打ち合わせが行われました。7月には第3回目の実行委員会が開かれる予定です。式典は平成30年11月11日（日）飛騨市文化交流センター大ホールで行われます。



6/9 小論文講座が開かれました。

第一学習社から河端理恵先生をお招きし、小論文講座を受講しました。学年ごとに生徒目線でお話をいただき、一年生は小論文と作文の違いから、二年生は評価のポイントについて、三年生ではより実践的な小論文の書き方についてご指導をいただきました。



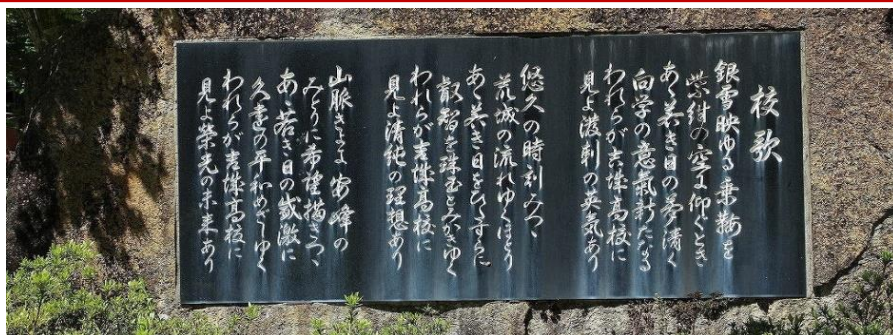
特集 ～創立70周年に向けて～

吉城高校・校歌制定物語

作詞は全国公募、作曲は著名な作曲家に要請

吉城高校は、地域からの高等学校設立の要望が高まるなか、昭和23年に組合立の昼間定時制高校として誕生しました。最初は、古川中学校の校舎を間借りして授業を行っており、草創期の本校には校舎も運動場も無く、あるのは、農業などの勤労に従事しながら、それでも学びたいという生徒の熱気だけでした。草創期に校歌を作る余裕は無く、「校歌が無いのは淋しい」という生徒会の要望もあり、昭和32年に校歌制定の準備委員会が立ち上がりました。作詞は中日新聞、朝日新聞等で全国公募し、条件は、「安峰山」「荒城川」の言葉を必ず入れること。費用は、生徒や保護者の協力によるものだったそうです。

111篇集まった詞の中から、奈良県斑鳩町（当時）在住の辰巳利郎氏の詞が選ばれました。辰巳氏は、校歌や音頭など多数の作詞をしておられ、後に高山市の市歌なども手掛けられたそうです。作曲については、作詞制定後、作曲家の平井康三郎氏に依頼しました。平井氏は、当時、東京音楽学校（東京芸術大学）助教授でNHK専属作曲指揮者でもあり、ラジオ歌謡や日本民謡の作曲に従事しておられました。特に「向学の意気新たなる（1番）」「叡智を珠玉とみがきゆく（2番）」「久遠の平和めざしゆく（3番）」の詞から、戦後の困窮の中で生まれた吉城高校の心意気が伝わってきます。（創立20周年記念誌、創立30周年記念誌等を参考）



吉城高校のホームページが閲覧できます。

